



横浜市立一本松小学校

5月号

学校だより

横浜市立一本松小学校

校長 高桑 透

令和8年4月30日

『命をたいせつにすること』

校長 高桑 透

春の穏やかな日差しから、早くも初夏を思わせる少し汗ばむ陽気の日が増えてきました。新年度が始まって一か月が過ぎ、子どもたちも少しずつ学校生活のリズムを取り戻しつつあります。週末にグラウンドで過ごすことの多い私自身も、季節の移り変わりを日々実感しています。

私は毎年、年度初日に子どもたちと3つの約束をしています。その1つ目が「命を大切にすること」です。4月2日、横浜市内で小学生が交通事故により命を落とすという痛ましい出来事がありました。春休み中の出来事でしたが、子どもたちの安全を思うと気が気ではありませんでした。始業式の日、元気に登校してくる子どもたちの姿を見て、心から安堵したのが正直な思いです。4月から道路交通法が改正され、自転車の利用についても改めて注意が必要になっています。自転車は軽車両であり、原則として自動車と同じ扱いとなります。小学生を乗せての二人乗りや一方通行違反などは、これまでも見られましたが、今後は青切符の対象となり、厳しく罰せられることとなります。また、子どもを乗せていても原則として歩道を走行できないなど、これまでの感覚とは異なる点もあります。大人が誤った理解のまま行動すれば、その姿を子どもたちはそのまま学びます。まずは私たち大人が正しい交通ルールを理解し、実践することが、子どもたちの命を守る第一歩です。

私は一本松小学校に着任して以来、「子どもたちの安全・安心こそ、公教育が最優先で守るべきもの」だと考えてきました。その一環として導入したのが、登下校時見守りシステム「ツイタモン」です。子どもたちが校門を通過すると記録が残り、青いタグを所持することで登下校時刻の確認や防犯カメラ映像での確認が可能になります。学校にいる時間は教職員が責任をもって守っていますが、交通事故を含め、最も心配なのは登下校の時間帯です。無料会員でも十分な効果がありますので、未登録のご家庭はぜひご検討ください。全校児童がタグを身につけていること自体が、大きな犯罪抑止につながります。

さらに、保護者の皆様に特に強くお伝えしたいのが、スマートフォンやネットゲームをめぐる問題です。近年、本校でも、いじめを含む児童間トラブルが増加しています。横浜市内でも、なりすまし等により、子どもが犯罪に巻き込まれる事案が後を絶ちません。子どもが関係する事件は報道されにくく、危険はすでに私たちの身近にあります。

スマートフォンやネットゲームは、保護者の判断と責任のもとで子どもに使わせているものです。「知らなかった」「見ていなかった」では済まされません。どのアプリを使い、誰とどのようなやり取りをしているのかを把握し、フィルタリングやペアレンタルコントロールの設定を必ず行ってください。そのうえで、危険性を保護者自身が理解し、子どもと一緒に家庭のルールを作ることが不可欠です。今のネット社会において、子どもたちを守れるのは、まず保護者の皆様です。

学校では今年度、情報モラル教育に重点的に取り組み、関連する授業をすべて公開します。子どもたちが何を学び、何に注意しようとしているのかを、ぜひ直接ご覧ください。学校と家庭が同じ方向を向いたとき、子どもたちを守る力はより確かなものになります。これからも力を合わせ、子どもたちの命と安心を守っていきましょう。